

未来創出ひむか看護プロジェクト

～デジタルヘルス技術を使える人材育成のための教育システム整備～

現状：Covid-19対応の教授方法

遠隔授業Web会議システム(ZOOM)

オンデマンド授業(Google Classroom)

シミュレーター演習(SimPad:Laerdal Medical社製)

病院施設実習は学内実習、見学実習で代替

課題

- ・ シミュレーター(人形)演習では、学生の集合が必須/クラス単位の運用上の困難
- ・ 患者情報の制限により、看護実践の思考が困難
- ・ 患者や入院環境のイメージ化、臨床推論に基づく看護実践の経験が困難

教育システム整備 (DX)

- ① マルチ情報ウィンドウを用いた双方向性リモートシミュレーター演習
- ② 学内外施設(附属病院・保健所・訪問看護ステーション)との双方向性実習指導
- ③ 教育用電子カルテ(MEDI-EYE)とSimPadシミュレーターを連携させた病院施設実習の仮想展開
- ④ 教育用電子カルテとシミュレーターを用いたコマンド選択方式のオンデマンドリモート病院施設実習



期待する効果

- ・ 電子媒体による情報収集・処理に習熟することで臨床と実習での記録乖離を低減
→ **多角的視野を持つ看護実践の思考展開**
- ・ 病院および施設実習が行えない時でも、病院および施設専門職学生教育担当が指導介入
- ・ 病院および施設実習が行えない時でも、コンテンツ内模擬患者を用いた実習を実施
→ **患者や入院環境のイメージ化、看護実践に必要な臨床判断力の習得**